

ふくいの県産品マッチング機会創出支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業政策課	課長名	荒木 一男	
事業主体		(公財) ふくい産業支援センター			事務 区 分	■ 自治事務	事業 区 分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	補助											
補助率	県10/10											
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [II 成長を創る (産業力)] 政策 [6 地域経済のイノベーション]			関連する県の計画等		[ふくい経済ビジョン、ふくい創生・人口減少対策戦略]						
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、食品や生活雑貨等の県産品を製造する県内中小事業者は観光業や飲食業、百貨店等の休業または展示会の中止に伴い、県内外における販売先の縮小や商談機会が失われている。						商業動態統計 2021年商業販売額 (経済産業省) 商業販売額 551兆9,100億円 (前年比 6.0%) 【内訳】卸売業 401兆4,480億円 (前年比 7.7%) 小売業150兆4,620億円 (前年比 1.9%)						
[事業目的]												
新型コロナウイルス感染症の影響により県内外における販売先の縮小や商談機会が失われている県内食品・生活雑貨製造事業者等と県内外の流通業者等のマッチング機会を創出する。												
[事業内容]												
(1) 展示会への出展支援 (年2回) ※リモート商談を取り入れたブース装飾 (8,072千円 (企業負担あり)) ① スーパーマーケット・トレードショー (2月) 支援企業: 12社 企業負担: 8万円 (1回目) 10万円 (2回目) 15万円 (3回目以降) ② 東京インターナショナル ギフト・ショー (9月) 支援企業: 12社 企業負担: 12万円 (1回目) 15万円 (2回目) 20万円 (3回目以降) (2) 個別商談会の開催 (年3回) (400千円) ・百貨店等の県外流通業者とのWEB商談会を開催 支援企業: 90社 (30社×3回) (3) テストマーケティング事業 (200千円 (企業負担金あり)) ・県内事業者が (1) (2) でマッチングした県外流通事業者 (百貨店、スーパー等) の店舗等において、テストマーケティングする際の旅費支援 支援企業: 10社 企業負担: 1/2 出店先: 百貨店、高級スーパー、雑貨店等												
[受益者] 県内事業者						[想定される受益者数] 124社						
前事業の有無・実績		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 ふくいの食品戦略的販路拡大支援事業 (実績) ・3年間で240社支援				関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況		・事業者への当該事業の募集案内の広報を依頼				他県の状況		・岐阜県、長野県、和歌山県などにおいて、首都圏での大規模展示会への出展支援事業を行っている。 ・石川県において、県内の小売店バイヤーが来場する展示会、首都圏の食品バイヤーを招聘した商談会の同時開催				

ふくいの県産品マッチング機会創出支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業政策課	課長名	荒木 一男	
事業主体	(公財) ふくい産業支援センター				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 R3 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年度) R5 年度	R5 年度	
事業実施方法	補助					事業区分						
補助率	県10/10											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	8,672	4,336			4,336		地方創生推進交付金					
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分			令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由				
当初予算額の推移					9,259	9,259	8,672	広報用印刷物の発行枚数の見直しによる縮減 展示会の出展支援における事業者負担の見直し調整				
2月現計予算額の推移					9,259	9,259						
決算額の推移					8,078							
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区分			令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	商談成立事業者数	(目標) 実績			(50) 27	(50)		(150)	(150)	前事業「ふくいの食品戦略的販路拡大支援事業」の成立平均企業数20社 +増加分30社		
活動指標	支援事業者数	(目標) 実績			(114) 59	(114) 50		(342)	(342)			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価				
令和3年度	商談成立事業者数 27社 (商談成立件数 62件)			広報チラシのデジタル化に伴う印刷物発行数の縮減 等による効率化を図り、支援を継続する。 新型コロナウイルスが落ち着き行動様式が変化するため、オ ンラインと対面の両方実施可能な商談会の開催を支援。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
令和4年度	支援事業者数 50社 (令和4年2月末現在)							<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	587	
・新型コロナウイルス感染拡大により、商談会をオンラインで実施した ところ、参加企業数が目標を下回り、結果として商談成立事業者数につ いて目標が下回った。								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

福井県ビジネス支援センター運営事業

区分	継続	経費区分	政策的経費・標準外経費	要求基準	一部内	部局名	産業労働部	課名	産業政策課	課長名	荒木 一男	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H14 年度 経過年数 22 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	委託											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [III 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大化]				関連する県の計画等		[ふくい経済ビジョン FIRST291～北陸新幹線開業プラン～]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
<p>県内中小企業単体では首都圏での販路開拓や情報発信が困難である。アンテナショップによって情報発信やメディア等の媒体を活用したPR活動を実施することにより、首都圏に向けて福井県産品および福井県のイメージの普及、向上を図る必要がある。</p>						<p>商業動態統計 2021年商業販売額(経済産業省) 商業販売額 551兆9,100億円(前年比 6.0%) 【内訳】卸売業 401兆4,480億円(前年比 7.7%)、小売業 150兆4,620億円(前年比 1.9%)</p>						
[事業目的]												
<p>東京南青山の県有地に民間事業者が建設する建物を借り受け、南青山拠点において、県内企業の新たなビジネス展開支援と食によるブランド発信拠点として事業展開するとともに、銀座に立地する民間事業者が所有する建物を借り受け、銀座拠点において、本県の魅力ある県産品や観光移住情報発信等を行う。</p>												
[事業内容]												
<p>(1) 県有地の貸付と建物の借受 東急不動産(株)に対し、東京・南青山の県有地を事業用借地権により貸し付け、当該地に東急不動産が建設する建物の一部をビジネス支援拠点施設として借り受ける。 ①土地 面積：1996.70㎡ 契約期間：令和3年10月16日～令和15年3月31日 ②建物 面積：998.41㎡ 契約期間：令和3年8月16日～令和14年9月30日</p> <p>(2) 銀座拠点における建物の借受 面積：367.16㎡ 契約期間：令和4年2月1日～令和14年9月30日</p> <p>(3) 福井県ビジネス支援センター運営業務の委託</p> <p>(4) 首都圏 販路開拓・情報発信アドバイザーの雇用 北陸新幹線福井・敦賀開業に向け、首都圏における本県の物産、観光等の販路拡大や情報発信を強化するため、首都圏のメディアや経済人に幅広いネットワークを有する職員をアドバイザーに委嘱する。</p>												
[受益者] 県内事業者						[想定される受益者数] 約300社						
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況		市町と連携したフェアの開催 (H29 福井市、小浜市、大野市、永平寺町、越前市) (H30 鯖江市、勝山市、敦賀市、池田町、越前町、坂井市) (R1 小浜市、越前町、若狭町、おおい町、高浜町) (R2 福井市、小浜市) (R3 越前市)				他県の状況		本県を含めて36道県が首都圏においてアンテナショップを運営				

福井県ビジネス支援センター運営事業

区分	継続	経費区分	政策的経費・標準外経費	要求基準	一部内	部局名	産業労働部	課名	産業政策課	課長名	荒木 一男	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H14 年度 経過年数 22 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R5 年度
事業実施方法	委託											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	376,212			(財) (諸) 253,780	122,432		(財産運用収入) 128,670千円、(諸収入) 125,110千円					
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移	243,689	253,004	250,474	337,495	376,212	アンテナショップのリニューアル完了により、年間通しでの運営開始に伴う委託料の増加						
2月現計予算額の推移	243,689	256,645	250,474	337,495								
決算額の推移	243,547	256,525	235,435									
前年度までの 主な増減理由	R 1：消費税増税に伴う建物賃料および運営委託費の増加、「食の国 福井館」の家賃引き上げと契約更新に伴う諸経費 R 2：修繕費の増加 R 3：修繕費の減少 R 4：リニューアルに伴う銀座拠点の建物借受費の増加											
[成果指標等の推移]												
区分	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	売上額(千円)	(目標) 227,933 (実績) 214,166	(234,770) 191,936	(167,648) 221,301	(167,684)	(320,000)			運営事業者の目標数値(～R3年度) 新店舗売上目標320,000千円(R4年度～)			
活動指標	来館者数(人)	(目標) 420,000 (実績) 357,402	(449,000) 250,574	(485,000) 289,664	(160,000)	(530,000)			運営事業者の目標数値(～R3年度) 新店舗来館者目標53万人(R4年度～)			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価				
銀座がリニューアルのため閉館し、4月～9月はふくい南青山291のみの運営となったが、前年度同月比110%以上の売上となった。また、10月～2月の両館閉館期間中は、期間限定アンテナショップの運営により、売上確保とスムーズな新店舗オープンにつなげた。 (参考) R4.4月～R5.1月 売上 189,087千円 (南青山、期間限定アンテナショップ) 来館者数 70,263人(南青山) ※期間限定アンテナショップでは来館者数の測定は行っていない。				令和4年度末の「ふくい南青山291」(南青山)および「ふくい食の国291」(銀座)のリニューアルオープンにより、コワーキングスペースを活用した県内企業の新たなビジネス展開の誘発や、アンテナショップ機能の集約・強化による販路拡大等を図り、来館者増加につなげていく。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	471,898	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

コネクト291 in福井開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業政策課	課長名	荒木 一男	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	委託、直営、補助											
補助率	県1/2											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [III 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大化]	関連する県の計画等		[ふくい経済ビジョン FIRST291～北陸新幹線開業プラン～]								
[解決すべき問題・課題] 北陸新幹線福井・敦賀開業が迫る中、県内事業者の首都圏に向けた発信力強化、県内企業と首都圏企業の交流促進を図る必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 商業動態統計 2021年商業販売額(経済産業省) 商業販売額 551兆9,100億円(前年比 6.0%) 【内訳】卸売業 401兆4,480億円(前年比 7.7%)、小売業 150兆4,620億円(前年比 1.9%)						
[事業目的] 北陸新幹線福井・敦賀開業が迫る中、県内企業と首都圏企業の交流を促進する事業を行うことにより、福井県ビジネス支援センターで活躍するクリエイターを基軸に、県内で首都圏企業と県内企業のビジネスマッチングを誘発し、新商品開発、販路拡大につなげる。												
[事業内容] (1) コネクト291 in福井 ・首都圏企業・クリエイターを招いて、個別相談会やパネル展などの交流会を開催 ・首都圏クリエイター等への旅費補助 ・県内コワーキングスペースの利用補助 (2) コネクト291 in福井の新商品の販売イベント補助(補助率1/2) ・コネクト291 in福井で開発された新商品の販売イベントを「ふくい食の国291」で実施する場合の旅費を補助												
[受益者] 首都圏でビジネス展開を行う県内事業者						[想定される受益者数] 10社						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

コネクト291 in福井開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業政策課	課長名	荒木 一男			
事業主体	県				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業開始年度	R4 年度	事業終了予定年度 (見直し年度)	R5 年度
事業実施方法	委託、直営、補助											経過年数		
補助率	県1/2											2 年		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	3,131					3,131								
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移						3,131	令和4年度は「アンテナショップリニューアル事業」の一部として実施							
2月現計予算額の推移														
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	首都圏企業と県内企業のビジネスマッチング件数 (目標) 実績					(10)			コネクト291 in福井に参加する首都圏企業・クリエイター					
活動指標	コネクト291 in福井での個別商談件数 (目標) 実績					(20)			コネクト291 in福井の県内企業の参加目標数					
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価						
・「ふくい南青山291」の coworking space「コネクト291」が令和5年3月末のオープンとなったことから、本格的な事業展開を令和5年度に見送った。				令和4年度末の「ふくい南青山291」のリニューアルオープンにより、令和5年度よりコネクト291 in福井の事業を本格的に展開していく。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

ふくい経済ビジョン推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業政策課	課長名	荒木 一男	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R9 年度
事業実施方法	直営											
補助率	-											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [II 成長を創る (産業力)] 政策 [6 地域経済のイノベーション]				関連する県の計画等		[ふくい経済ビジョン]					
[解決すべき問題・課題] 新型コロナウイルス感染症の影響による消費行動の変化や働き方の多様化など の社会経済環境の変化を踏まえ、新たな産業政策の方向性を示すことが必要						[問題・課題を表す客観的データ] ・ IT等のデジタル関連への投資 9割が意欲的 ・ 女性管理職への承認意欲 25.0% (全国28.7%) ・ 経済的豊かさ 全国5位						
[事業目的] 新型コロナウイルス感染症やデジタル化の進展など、県内企業を取り巻く社会経済情勢の変化に対応し、アフターコロナ時代における産業政策の方向性を示すため、令和5年春に新たな経済ビジョンを策定する。ビジョンの目指す取組みを推進するため、セミナーの開催によりビジョンのコンセプトや目指すべき方向性を共有するとともに、取組みの効果や好事例を企業に知ってもらうことにより意識を変え行動を促す												
[事業内容] (1) 経済ビジョン推進セミナーの開催によるコンセプト等の共有 [1, 002千円] 経済ビジョンのテーマに関するセミナーを開催する。併せて、ビジョンに基づく県の施策を紹介する。 また、本セミナーおよび産業労働部で実施する企業向けセミナーの後に、経営者等の交流会を開催する。(計9回) (2) 取組みの効果・好事例を用いた意識変革・行動変容 [2, 196千円] 県内企業が新事業創出やDX活用など前向きな取組みを実行するよう促すため、ビジョン策定委員や先進事例の企業が取組みのプロセスや効果を伝える動画を作成し、商工会議所や支援機関等を通じて企業に行動を促す。 制作にあたっては企画段階からデザインアドバイザーにアドバイスを受けることにより、リーチしやすい内容にするとともに、県の支援施策も併せて紹介し支援策を活用しての取組み実行を促す。												
[受益者] 県内企業						[想定される受益者数] 県内中小企業数: 29,210社 (経済産業省公表「中小企業・小規模事業者数 2016.6時点」)						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 福井経済新戦略策定検討会議開催事業 (実績) 平成31年3月 福井経済新戦略 改定					関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況	-					他県の状況		石川県 「石川県産業成長戦略 26年5月策定」 富山県 「ものづくり産業未来戦略」31年3月策定				

ふくい経済ビジョン推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業政策課	課長名	荒木 一男			
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務		事業区分	■ 実行予算		事業開始年度	R4 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R9 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務			□ 補助金					
補助率	-					□ その他			□ その他					
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	3,198					3,198								
[予算額の推移等]												(単位：千円)		
区分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移					3,718	3,198	経済ビジョンの策定から経済ビジョンの推進に事業内容を変更							
2月現計予算額の推移					3,718									
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	県民の仕事の満足度 (目標) 実績								仕事における『幸せ実感』についてのアンケート調査 ※令和4年度調査(実施中)の結果をもとに設定					
活動指標	セミナーの開催 (目標) 実績				(3) 3	(9)							令和4年度は策定委員会の開催回数	
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価						
付加価値づくりWG、企業経営WGを各3回開催し、県内経営者等の意見を伺うとともに、経済団体の代表や有識者等で構成する策定委員会を開催し、新たなビジョンの策定に向けて検討を実施				策定したビジョンの取り組みを推進するための事業内容に変更。県内企業とのビジョンのコンセプトや目指すべき方向性の共有、企業の行動変容を図る。				□ 拡充	■ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額			
								□ 継続	□ 休止	□ 完了	520			
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他				

ふくい街角景気速報調査事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業政策課	課長名	荒木 一男	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H20 年度 経過年数 16 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	- 年度
事業実施方法	委託											
補助率	-											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [II 成長を創る (産業力)] 政策 [6 地域経済のイノベーション]				関連する県の計画等		[ふくい経済ビジョン]					
[解決すべき問題・課題] 消費税増税、新型コロナウイルスの影響により、県内の経済状況は大きく変化しており、景況感を迅速に正確に把握する必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] <景気動向に関する統計 (作成元、対象エリア、公表時期) > ・景気ウォッチャー調査 (内閣府、北陸、毎月) ・福井県内経済情勢 (福井財務事務所、県、四半期)						
[事業目的] 本県の経済状況については海外市場の動向や為替変動等により、急激に変化する状況にある。そのため、県内企業への聞き取り調査を実施することにより、本県の経済動向を迅速かつ正確に把握する。												
[事業内容] (1) 概要 県内の様々な業種で働く方100人に対する景気の現状・先行きに関するアンケート調査 (2) 事業区分 委託 (3) 事業実施機関 毎月 (年12回) (4) 業務内容 事業所の選定・依頼、調査票の回収、データ入力、集計												
[受益者] 県内企業						[想定される受益者数] 県内中小企業数: 29,210社 (経済産業省公表「中小企業・小規模事業者数 2016.6時点」)						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況	石川、富山は、同様の調査事業は無し。					

ふくい街角景気速報調査事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業政策課	課長名	荒木 一男					
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務		事業区分	■ 実行予算		事業開始年度	H20 年度 経過年数 16 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	- 年度		
事業実施方法	委託					□ 法定受託事務			□ 補助金						□ その他	
補助率	-															
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等									
予算額	1,268					1,268										
[予算額の推移等]												(単位：千円)				
区分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由									
当初予算額の推移		1,148	1,262	1,262	1,263	1,268										
2月現計予算額の推移		1,140	1,254	1,111	1,263											
決算額の推移		1,140	1,254	1,111												
前年度までの 主な増減理由		元年度：消費増税による増 2年度：アルバイト単価変更のため増 4年度：アルバイト単価変更のため増														
[成果指標等の推移]																
区分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	(目標) 実績								県内の経済状況を迅速に把握するための事業であり、事業成果を求める性質のものではないため、成果指標を設定することは困難							
活動指標	(目標) 実績	(12) 12	(12) 12	(12) 12	(12) 12	(12)	(12)	(12)					月1回、公表			
[事業の評価]																
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価								
県内の様々な業種で働く100名に対し、景気の現状・先行きに関するアンケート調査を毎月実施、公表を行った。また、コロナ対策事業の政策立案に活用した。				事業を継続し、原油・物価高騰の影響等を把握し政策立案に活用していく。				□ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額					
								■ 継続	□ 休止	□ 完了						
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他						

おもてなし産業魅力向上支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業政策課	課長名	荒木 一男	
事業主体		(公財) ふくい産業支援センター			事務 区 分	■ 自治事務	事業 区 分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H30 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	補助金											
補助率	10/10											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [III 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大化]			関連する県の計画等			ふくい経済ビジョン、ふくい創生・人口減少対策戦略、 [FIRST291～北陸新幹線開業プラン～、ふくい観 光ビジョン]					
[解決すべき問題・課題] 北陸新幹線県内開業を直前に控え、新幹線駅周辺を始めとする市街地や観光地の店舗等の受入れ態勢を強化し、観光客がより長く滞在し、満足度を高めていく必要がある						[問題・課題を表す客観的データ] 【現状・課題】食・体験・学びを重点に新たなコンテンツ開発が必要 【取組みの方向性】体験プログラムの充実や食・体験・学びのツーリズム開発 ふくい観光ビジョン						
[事業目的] 北陸新幹線福井・敦賀開業直前に控え、駅周辺市街地や観光拠点周辺の店舗等における店舗改装・設備導入、体験・見学施設の整備・拡充について、重点的に支援する。												
[事業内容] (1) 飲食店や宿泊施設、伝統工芸品工場などの店舗改装・設備導入を支援 対象：食品・工芸品等製造事業者、飲食店、土産品店、宿泊施設 県補助率：2/3 [補助上限：3,000千円] 対象数：10事業者												
[受益者] 県内事業者						[想定される受益者数] 10社						
前事業の有無・実績		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 おもてなし商業エリア創出事業 (実績) ・ハード事業採択エリア 8市町 改修した個店では、売上増、来客数増が見られた。 ・ソフト事業採択エリア 5市 採択したエリアの歩行者通行量の増加が見られた。				関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況						他県の状況						

おもてなし産業魅力向上支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業政策課	課長名	荒木 一男		
事業主体	(公財) ふくい産業支援センター				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	H30 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	補助金												
補助率	10/10												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等						
予算額	30,243					30,243							
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移	80,366	80,373	70,373	57,373	30,243	「県都まちなか再生ファンド」および「敦賀市まちづくりファンド」による事業者支援開始に伴う支援対象数の見直し							
2月現計予算額の推移	81,938	78,711	66,882	56,984									
決算額の推移	77,588	78,656	66,500										
前年度までの 主な増減理由	令和4年度は、商品開発支援メニューを廃止したため事業費が減少した												
[成果指標等の推移]													
区 分	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	前年の売上を上回った採択事業者の割合 (目標) 実績	(60) 57.0	(60) 53.0	(60) 41.0	(60)	(60)	(60)	令和元年度実績をもとに目標を設定					
活動指標	支援事業者数 (目標) 実績	(30) 30	(30) 32	(25) 26	(19) 20	(10)	(154)					7年間で154事業者支援 (H30~R2:30件、R3:25件、R4:19件、R5~R6:10件)	
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価					
・店舗改装・設備導入：20件（21件採択、うち1件採択後辞退） ・令和2年度以降、コロナ禍により飲食・宿泊業は全体的に売上減少しており、採択事業の売上が伸ばせない事業者が増えている。				・新幹線開業に向け、観光客の満足度が高い体験・見学施設や、県産品を利用した設備の整備といった売上の向上が見込める事業を積極的に採択していく。 ・「県都まちなか再生ファンド」および「敦賀市まちづくりファンド」の支援地域外の事業者を中心に支援を実施していく。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	26,741		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

商店街等集客力向上支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業政策課	課長名	荒木 一男	
事業主体	商店街、事業協同組合、まちづくり会社等				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R1 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	補助											
補助率	(1) 1/3、(2) 1/2											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [Ⅲ 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [12 文化・スポーツがふくいの活力]				関連する県の計画等		[ふくい経済ビジョン、FIRST291～北陸新幹線開業]					
[解決すべき問題・課題] 地元の商店街が魅力を向上し来客者の増加を図る取組みをしようとしても、商店街の予算額が減少しているため事業実施に利用できる予算確保が難しいため、取組みの実施に至らない。						[問題・課題を表す客観的データ] 中小企業庁「平成30年度商店街実態調査」 問5(1)①2 平成30年度の総事業予算額 (3年前との比較) 福井県 「減った」41.4%						
[事業目的] 北陸新幹線福井・敦賀開業に向けて増加する県外および外国人の観光客、地域住民や高齢者の商店街等への来街を促進し、商店街等が有する公共的機能、買物機能の維持、強化を図るため、必要な整備を支援する。												
[事業内容] (1) 商店街等活性化環境整備支援事業 (4,400千円) 市町が作成した事業計画に基づく取組みを支援 実施主体：商店街、事業協同組合、個店グループ(中小企業者または個人事業主3者以上で構成)等 県補助上限額：1か所 6,000千円(最大3年間に分けて補助) 補助率：県1/3、市町1/3(県は市町への間接補助) 補助対象事業 ① 地域交流拠点設置事業(コミュニティスペース整備等) ② 商店街等広域連携事業(ポイントカード地域統一化等) ③ 商店街賑わい創出事業(案内QRコード設置、イベント開催等) ④ 新幹線開業イベント開催事業 など (2) 福井市中心市街地にぎわい創出事業 (5,000千円) 福井駅西口再開発事業の工事により減少した来客数を取り戻してにぎわいを創出するために福井市が実施するイベント等のソフト事業を支援 実施主体：まちづくり会社 等 県補助上限額：5,000千円 補助率：県1/2、市1/2(県は市への間接補助) 補助対象事業：① イベントの開催 ② 商店街紹介マップの作成												
[受益者] 商店街、事業協同組合、個店グループ						[想定される受益者数] 5団体						
前事業の有無・実績		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 地域商業活性化事業 (実績) 商店街等が新たに実施する公共空間の施設整備、設備整備およびソフト事業。共同店舗が高齢者等の買物促進のために実施する施設整備、設備整備およびソフト事業。				関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況		市町も県と同様に1/2～1/3を補助することにより県と共同して事業を実施				他県の状況						

商店街等集客力向上支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業政策課	課長名	荒木 一男					
事業主体	商店街、事業協同組合、まちづくり会社等				事務区分	■ 自治事務		事業区分	□ 実行予算		事業開始年度	R1 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R6 年度		
事業実施方法	補助					□ 法定受託事務			■ 補助金						□ その他	
補助率	(1) 1/3、(2) 1/2															
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等									
予算額	9,400	4,700			4,700		地方創生推進交付金									
[予算額の推移等]												(単位：千円)				
区分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由									
当初予算額の推移		18,000	21,200	16,024	17,692	9,400	令和4年度末時点で策定されている計画について補助を実施									
2月現計予算額の推移		14,050	2,750	12,861	12,219											
決算額の推移		12,123	1,778	12,595												
前年度までの 主な増減理由		各市町からの事業要望を聞いたうえで増減を決定														
[成果指標等の推移]																
区分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	支援した商店街等の課題解決達成率	(80)	(80)	(80)	(80)	(80)	(80)	(80)	・各年度における市町の目標達成率（組合の新規加盟店数、ポイントカード発行枚数等）の平均値とする ・令和元年度の実績をもとに目標を設定□							
	実績	81	40	70												
活動指標	環境整備に取り組む商店街等の数	(6)	(6)	(6)	(6)	(4)	(24)	(24)								
	実績	4	3	6	4											
[事業の評価]																
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価								
商店街や商業施設への誘客やにぎわい創出について、令和2年度・3年度はコロナ禍の影響でイベントが開催できないなどにより未達成となった目標があった。				令和4年度時点で市町が商店街等の活性化に関する計画を策定している商店街等を対象に支援を継続する。				□ 拡充	■ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額					
								□ 継続	□ 休止	□ 完了	2,819					
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他						

“ふくいのおっき”フードフェア開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業政策課	課長名	荒木 一男	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 9 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	委託											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [III 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [12 文化・スポーツがふくいの活力]				関連する県の計画等	[ふくい経済ビジョン]						
[解決すべき問題・課題] 再開発や新型コロナウイルスの影響で駅前の来街数が減少し、街なかの賑わいが失われてきている。						[問題・課題を表す客観的データ] 福井市中心市街地(中央一丁目)店舗数 H22:389 H28:337 R3:280 R4:259 西武福井店の来店者数(単位:千人) H30…2,854 R1…2,729 R2…2,165 R3…2,231						
[事業目的] 県内事業者の魅力的な商品を発掘し、県内外への販路拡大を促進する。また、商品の展示・販売会を地域百貨店において開催することで、街なかの集客による賑わいづくりと県内消費の拡大を図る。												
[事業内容] (1) 県民から公募した商品の展示・販売会の開催 ・ 県内事業者の魅力的な商品について広く県民や関係団体から公募し、推薦商品を紹介する展示・販売会を西武福井店の6階催事場にて開催 ・ 展示・販売会では事業者が来場者に直接商品PRを実施 (2) 発掘した人気商品の県内外へのPR ・ 出展商品の販売会を西武福井店、県アンテナショップで実施 ・ 出展商品をオンラインストア「福井の口福」で販売 ・ デジタル技術を活用したPR(例:PR動画の作成、SNS・YouTube広告、デジタルサイネージ等)を行い、北陸新幹線開業を見据え、県内だけでなく、県外客に対しても魅力を発信し、集客や販路拡大を図る												
[受益者] 県内事業者						[想定される受益者数] 約40社						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 ふるさと“逸品”フェスタ (実績) H22~26にふるさと“逸品”フェスタを開催。平均で1,412万円、来場者57,372人、出展事業者数44社。H25に初出展した3社が催事後継続して西武と取引を開始。H26に伝統工芸品の職人による「七人の侍」が初めて西武でオリジナル商品の展示販売を実施。その後、西武の常設売り場にて商品の販売を開始。					関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況						他県の状況						

“ふくいのっておき”フードフェア開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業政策課	課長名	荒木 一男		
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 区分	事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 9 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	委託					□ 法定受託事務							
補助率	—												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	8,187	4,093			4,094	地方創生推進交付金							
[予算額の推移等]												(単位：千円)	
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移		12,500	12,500	11,250	9,097	8,187	広報費の効率化等必要経費の見直しによる減額						
2月現計予算額の推移		12,500	12,500	11,250	9,097								
決算額の推移		12,498	12,500	11,250									
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	展示・販売会売上（千円）	(目標) 16,000 実績 18,842	(16,000) 21,177	(16,000) 19,446	(19,800) 18,584	(19,800)	(19,800)	(19,800)	過去3年間の実績平均（19,800千円）以上				
活動指標	出展者数	(目標) 70 実績 55	(70) 41	(70) 34	(70) 37	(70)	(70)	(70)	会場に出店できる最大数				
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価					
開催期間中の販売会の売上 18,584千円 前年同期比95.6% ・同じカテゴリーの商品が多かったことや販売商品の種類が少なかつたため買い回りにつながらなかった。				販売商品のバリエーションを増やすほか、出展ブースを増やし、販売スペースを増やすことで売上アップを図る。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	910		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

恐竜といえば福井「ダイノデパートin西武福井」開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業政策課	課長名	荒木 一男	
事業主体	県				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	委託											
補助率	-											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [III 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大化]				関連する県の計画等		[ふくい経済ビジョン]					
[解決すべき問題・課題] 駅前再開発中の駅前のにぎわい創出						[問題・課題を表す客観的データ] 福井市中心市街地(中央一丁目)店舗数 H22:389 H28:337 R3:280 R4:259 西武福井店の来店者数(単位:千人) H30...2,854 R1...2,729 R2...2,165 R3...2,231						
[事業目的] 北陸新幹線福井・敦賀開業に向けて、本県のキラークンテンツ“恐竜”を活用し、JR福井駅周辺の地域百貨店で触れ、関連グッズを購入することができるイベントを開催することにより、街なかの集客による賑わいづくりと県内消費の拡大を図る。												
[事業内容] (1) 恐竜骨格化石等の展示 ・西武福井店の店内に恐竜骨格化石や恐竜バルーン等を設置 (2) 映像や音響を使った店内装飾やまちなかの一体感を創出する仕組みを充実 ・化石等の展示のほかに迫力ある映像や音響(館内放送等)を活用し、来場者が一層楽しめるようにするとともに、駅前の一体感や賑わいの創出につながるようダイノデパートに来た方に対してノベルティ等を配布(恐竜マスクやショッパーなど) (3) 恐竜博物館研究員によるワークショップの開催 ・恐竜博物館研究員が展示されている骨格の説明やクイズを実施 (4) 動く恐竜体験ライブの開催 ・動く恐竜体験ライブ「DINO-A-LIVE」をグリーティング形式で開催(屋上広場:土日×2回) (5) 恐竜グッズの販売 ・県内企業の恐竜グッズ恐竜博物館オリジナル商品等の販売(6階催事場:土日×2回) (6) 恐竜クイズラリーの実施 ・各階にクイズポイントを設置し買い回りを促進。回答者には抽選で恐竜グッズや買物券を贈呈(西武、ハピリン、柴田神社) (7) 駐車料金の割引												
[受益者] 西武福井店、福井駅前の商店等						[想定される受益者数] 約200店舗						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況	福井市 まちいろストリート					他県の状況						

恐竜といえば福井「ダイノデパートin西武福井」開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業政策課	課長名	荒木 一男	
事業主体	県				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業区分 <input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度	R3 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R5 年度
事業実施方法	委託											
補助率	-											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	41,478	20,739			20,739	地方創生推進交付金						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移				55,000	46,087	41,478	広報費の効率化等必要経費の見直しによる減額					
2月現計予算額の推移				53,000	46,087							
決算額の推移				53,000								
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	西武福井店来店者数 (ダイノデパート開催による増加分)	(目標)		(49,500)	(91,560)	(91,560)			R4 R3実績×60%増 (2,725人×160%) ×開催日数 R5 R4実績×60%増 (2,725人×160%) ×開催日数			
		実績		89,900	△ 2,808							
活動指標	開催期間	(目標)		(33)	(21)	(21)			展示内容を充実し集客効果を高めるため、期間短縮により設営費等を集約			
		実績		33	26							
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価				
期間中の西武来店者数 145,000人 前年同期比98.1% 開催期間中の西武売上 前年同期比94.2% ・開催期間後半は天候に恵まれず、メインの集客イベントであるDINO-A-LIVEの来場者も少なかったため、来店者数や売上も思うように伸びなかった。				恐竜博物館リニューアルオープンとの連携により集客を図る。				<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 整理統合	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の見直し <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> その他	見直し額	
										4,609		

インバウンドによる地域消費拡大推進事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業政策課		課長名	荒木 一男			
事業主体	まちづくり会社等				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	□ 実行予算	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度			
事業実施方法	補助金												□ 法定受託事務	■ 補助金	□ その他
補助率	3/4														
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [III 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大化]				関連する県の計画等		[ふくい経済ビジョン]								
[解決すべき問題・課題] 個別店舗においてインバウンド対応の費用がなく、インバウンド対策が進んでいない。						[問題・課題を表す客観的データ] 年間予算における支出割合 インバウンド関連費 : 0.4% (中小企業庁 「令和3年度商店街実態調査」)									
[事業目的] まちづくり会社等が民間事業者と連携し、個別の店舗では対応が難しい商品・サービスの多言語化等をインバウンドアプリを使って進めることにより、北陸新幹線福井・敦賀開業や大阪万博開催を見据え、新型コロナウイルス感染症からの回復後における外国人観光客等による地域での消費拡大を図る。															
[事業内容] (1) アプリの利便性向上 アプリの機能見直しや改修、情報量の充実等によりさらなる利便性の向上を図る (2) 参加店舗の拡大 福井市以外にも敦賀市やあわら市、坂井市、越前市など新幹線駅周辺に参加店舗を拡大し、県全体でインバウンド体制を整え、外国人観光客による消費拡大を促す (3) 運営体制の強化 地元の民間事業者と連携し、店舗展開およびシステム関連のサポートを担うことで、他市町への参加店舗の拡大および店舗情報の充実、アプリの利便性向上につなげる。															
[受益者] 個別店舗、外国人観光客等						[想定される受益者数] 400店舗									
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・ 役割分担		■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)								
市町との連携状況	参加市と協力し、店舗追加を実施				他県の状況										

インバウンドによる地域消費拡大推進事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業政策課	課長名	荒木 一男		
事業主体	まちづくり会社等				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業開始年度	R2 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R6 年度
事業実施方法	補助金												
補助率	3/4												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	9,000	4,500			4,500	地方創生推進交付金							
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区分	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移			22,575	6,390	9,000	運営体制の強化およびエリア拡大のため							
2月現計予算額の推移		15,000	10,080	6,390									
決算額の推移		14,765	8,958										
前年度までの 主な増減理由	令和4年度：新型コロナウイルス感染症の影響により一時的に追加登録を中止												
[成果指標等の推移]													
区分	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	アプリ参加市町 (目標) 実績	(1) 1	(2) 1	(2) 1	(4)	(7)	(9)	北陸新幹線県内開業、大阪万博開催に向けた新幹線駅立地市および周辺市町の参加					
活動指標	アプリ参加店舗 (目標) 実績	(100) 111	(200) 166	(200) 158	(400)	(700)	(900)						
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価					
新型コロナウイルスの影響により外国人観光客の動向が見通せなかったため、エリア拡大は見送り、来年度に向け、システムやインバウンド専門家、地元企業と意見交換を行い、アプリのあり方を見直した。				見直しの結果、既存体制ではエリア拡大や店舗サポートが不十分であることが分かったため、地元企業を運営体制に組み込み、エリア拡大とアプリの利便性向上を図る。				■ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額		
								□ 継続	□ 休止	□ 完了			
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他			

官民連携による「県都まちなか再生ファンド」活用事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業政策課		課長名	荒木 一男
事業主体	県都まちなか再生ファンド運営委員会				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	□ 実行予算 □ 補助金 ■ その他	事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	負担金											
補助率	-											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [III 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [9 100年に一度のまちづくり]				関連する県の計画等		[ふくい経済ビジョン、FIRST291～北陸新幹線開業プラン]					
[解決すべき問題・課題] 西武福井新館の閉店や老朽化した空きビルの増加、再開発事業に伴う来街者の減少など、県都福井の中心市街地の活力低下。						[問題・課題を表す客観的データ] ・中央1丁目の空き店舗数(R3年8月) 29店舗(10.5%) ・1か月間の駅前への来街回数(R1年5月) 0回37.7%、1回22.2%、2回23.4%、3回以上16.6% (まちづくり福井による定期調査)						
[事業目的] 県・福井市・福井商工会議所が参画する「県都にぎわい創生協議会」において、福井駅周辺のまちづくりのグランドデザインが策定され、福井駅周辺のテナント・マネジメントを強化し、空きビル対策やリノベーション推進、街並みの向上を図るなど、北陸新幹線福井開業に向けた受入態勢づくりを進めていく。												
[事業内容] 北陸新幹線福井・敦賀開業に向けて福井県の玄関口である福井駅中心市街地を魅力あるものにし、県外観光客が何度も訪れたいくなるまちにするため、造成した「県都まちなか再生ファンド」を活用し、外観のリノベーションや、「県都グランドデザイン」の目的に合った店舗を誘致するために必要な支援を行う。 (基金の概要) ・基金総額 24億円(県12億円、福井市12億円) ※基金は取崩型とし、別途、金融機関が事業者へ協調して融資 ・基金設置 県都まちなか再生ファンド運営委員会(県、市、学識経験者、金融機関等で構成、負担金として支出) ・支援対象 「県都グランドデザイン」に基づき、福井市中央1丁目および3丁目等の店舗所有者等が実施する商業ビル等の改修・高度利用の推進、民間再開発の実施、店舗のリノベーションなど												
[受益者] 福井駅周辺への出店事業者						[想定される受益者数] 約60店舗						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担		■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況	福井市が同額を負担					他県の状況						

官民連携による「県都まちなか再生ファンド」活用事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業政策課	課長名	荒木 一男		
事業主体	県都まちなか再生ファンド運営委員会				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		<input type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他		事業開始年度	R4 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	負担金												
補助率	-												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	290,000			繰入 290,000		県都まちなか再生ファンド繰入金							
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移					1,350,000	290,000	令和4年度に造成した「県都まちなか再生ファンド」の取崩による事業実施						
2月現計予算額の推移					1,235,500								
決算額の推移													
前年度までの 主な増減理由	令和4年度において、「県都まちなか再生ファンド」を造成したため												
[成果指標等の推移]													
区分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	改修等支援件数 (目標)				(8)	(23)	(42)	(62)					
	実績				10								
活動指標	改修等相談件数 (目標)				(20)	(20)	(60)	(100)					
	実績				95								
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価					
店舗のリノベーション支援 10件				・「県都まちなか再生ファンド」の造成を令和4年度に完了したため、今後は、造成基金による事業運営を開始 ・令和4年度に制定された「県都グランドデザイン」の目的達成のため、支援メニューを拡充				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	945,500		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

官民連携による「敦賀市まちづくりファンド」活用事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業政策課	課長名	荒木 一男		
事業主体	敦賀市まちづくりファンド運営委員会					事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	□ 実行予算 □ 補助金 ■ その他	事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	負担金												
補助率	—												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [III 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [9 100年に一度のまちづくり]					関連する県の計画等		[ふくい経済ビジョン、FIRST291～北陸新幹線開業プラン]					
[解決すべき問題・課題] 北陸新幹線敦賀開業に向け、敦賀市中心部を賑わいのあるものとし、観光客を呼び込む核となるエリアを早急に整備を必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 観光客入込数(敦賀市) R元: 3,694千人 R2: 2,087千人 R3: 2,178千人 (出典: 福井県観光客入込数)							
[事業目的] 県・敦賀市・敦賀商工会議所が参画する「金ヶ崎周辺魅力づくり協議会」において、敦賀市中心市街地のまちづくりのデザイン計画策定を進めており、その中間報告に基づき、敦賀市中心市街地のテナント・マネジメントを強化し、空きビル対策やリノベーション推進、街並みの向上を図るなど、北陸新幹線福井開業に向けた受入態勢づくりを進めていく。													
[事業内容] 北陸新幹線敦賀開業に向け、敦賀市中心部を賑わいのあるものとし、観光客を呼び込む核となるエリアのビルの改修や景観整備、リノベーションを進めるため、県・市でそれぞれ積み立てた基金で支援を行う。 (基金の概要) 基金総額 9億円(県4億円、敦賀市5億円) ※地域振興基金に積み立て、敦賀商工会議所に負担金として支出 (支援対象) 敦賀市の観光の中核となる敦賀駅前エリア、気比神宮エリア、敦賀港周辺エリアを連結する5つの商店街(駅前商店街、本町1・2丁目商店街、神楽町商店街、相生町・博物館通り商店街)の店舗所有者等が実施する商業ビル等の改修・高度利用の推進、景観整備、店舗のリノベーションなど													
[受益者] 敦賀市中心市街地エリアへの出店事業者						[想定される受益者数] 約30店舗							
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担		■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	敦賀市が県と同額分を負担					他県の状況							

官民連携による「敦賀市まちづくりファンド」活用事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業政策課	課長名	荒木 一男		
事業主体	敦賀市まちづくりファンド運営委員会				事務区分	■ 自治事務		事業区分	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業開始年度	R4 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R8 年度
事業実施方法	負担金					□ 法定受託事務			<input type="checkbox"/> 補助金				
補助率	-								<input checked="" type="checkbox"/> その他				
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	120,000			繰入 120,000		敦賀市まちづくりファンド繰入金							
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分		令和元年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	令和5年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移						120,000	令和4年度に造成した「敦賀市まちづくりファンド」の取崩による事業実施						
2月現計予算額の推移					420,000								
決算額の推移													
前年度までの 主な増減理由		令和4年度において、「敦賀市まちづくりファンド」を造成したため											
[成果指標等の推移]													
区 分		令和元年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	改修等支援件数	(目標)			(5)	(8)	(21)	(33)					
		実績			5								
活動指標	改修等相談件数	(目標)			(10)	(10)	(30)	(50)					
		実績			52								
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価					
店舗のリノベーション、商業ビル改修 5件				・「敦賀市まちづくりファンド」の造成を令和4年度に完了したため、今後は、造成基金による事業運営を開始				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	300,000		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

商店街等空き店舗対策支援事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業政策課	課長名	荒木 一男	
事業主体		中小企業者等			事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法		補助金										
補助率		2/3										
福井県長期ビジョン における位置付け		分野 [III 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大化]			関連する県の計画等		[ふくい経済ビジョン、FIRST291～北陸新幹線開業プラン]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
商店街や商業施設の空き店舗等が埋まらない						8 (R2.2) →15 (R3.7) ※福井市内商業施設3施設の店舗空きテナント数の合計						
[事業目的]												
北陸新幹線県内開業等に向け、新型コロナウイルス感染症により商店街や商業施設の空き店舗等が埋まらないという課題を解消するため、空き店舗等への出店のための必要な整備を支援する。												
[事業内容]												
空き店舗等出店支援 商店街、商業施設等の空き店舗等に出店するための改修整備等を支援する 対象：中小企業者、NPO法人、創業予定者 県補助率：2/3 [補助上限：3,000千円] 対象数：10事業者												
[受益者]						[想定される受益者数]						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

商店街等空き店舗対策支援事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業政策課	課長名	荒木 一男						
事業主体		中小企業者等				事務区分	■ 自治事務		事業区分	□ 実行予算		事業開始年度	R3 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R6 年度		
事業実施方法		補助金					□ 法定受託事務			■ 補助金						□ その他	
補助率		2/3															
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等											
予算額					0												
[予算額の推移等]												(単位：千円)					
区分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由										
当初予算額の推移					30,373		事業内容見直しに伴い廃止										
2月現計予算額の推移				34,680	30,373												
決算額の推移				28,429													
前年度までの 主な増減理由		令和4年度：空き店舗等活用支援を商店街等集客力向上支援事業に移行															
[成果指標等の推移]																	
区分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠								
成果指標	売上額伸び率 (目標) 実績				(10)		(10)	(10)	前年比10パーセント増加								
活動指標	支援事業者数 (目標) 実績			(20) 12	(10) 5		(50)	(50)				4年間で50社支援					
[事業の評価]																	
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価									
空き店舗出店支援：5件（7件採択、うち2件採択後辞退） ・空き店舗対策については、「県都まちなか再生ファンド」および「敦賀市まちづくりファンド」を活用し、エリアを絞って集中投資することとし、事業終了。 ・今後、商店街や商業施設に対する新たな支援策を検討していく。				—				□ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額						
								□ 継続	□ 休止	□ 完了							
								□ 整理統合	■ 廃止	□ その他							

中小企業等における感染拡大防止対策事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	産業労働部	課名	産業政策課		課長名	荒木 一男
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	委託			経過年数								
補助率	—			4 年								
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [II 成長を創る (産業力)] 政策 [6 地域経済のイノベーション]				関連する県の計画等		[ふくい経済ビジョン]					
[解決すべき問題・課題] 県内のオミクロン株による新規感染者が急増している						[問題・課題を表す客観的データ] 県内の直近2週間 (R4. 1. 11~1. 24) の新規感染者数3,754人 (1日平均268人)						
[事業目的] 新型コロナウイルス感染症の拡大防止と社会経済活動の両立を図るため、感染防止対策を行った事業者に対して、助成金を支給する												
[事業内容] ・対象者 県内に所在する事業者 ・対象経費 自らの事業が該当する業種別ガイドラインに基づいた感染拡大予防のために行う感染防止対策の取組 (消毒用アルコール, フェイスシールド, アクリル板等の購入, 換気設備の施工 等) ・助成額 ①上限10万円/事業所 (助成率4/5) …新規事業者 ②上限5万円/事業所 (助成率4/5) …過去に申請した事業者 ・想定件数 6,300件 (①3,600件 ・②2,700件) ・対象期間 令和4年4月1日~令和5年3月31日												
[受益者] 県内事業者						[想定される受益者数] 6,300事業者						
前事業の有無・実績	■ 無 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況	・近隣県 (石川・富山) では感染対策に特化した類似事業の実施なし					

中小企業等における感染拡大防止対策事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	産業労働部	課名	産業政策課	課長名	荒木 一男						
事業主体		県				事務区分	■ 自治事務		事業区分	■ 実行予算		事業開始年度	R2 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R4 年度		
事業実施方法		委託					□ 法定受託事務			□ 補助金						□ その他	
補助率		—															
区分	事業費		国庫	起債	その他		一般財源		国庫、その他財源の名称等								
予算額							0										
[予算額の推移等]												(単位：千円)					
区分			令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由									
当初予算額の推移				600,000	582,000	579,000											
2月現計予算額の推移				600,000	671,679	579,000											
決算額の推移				582,000	640,342												
前年度までの 主な増減理由		令和3年度：想定を超える申請があったため事業費が増額 令和4年度：新規申請の事業者と過去に助成金を申請したことのある事業者で助成上限額に差をつけたことにより事業費が減額															
[成果指標等の推移]																	
区分			令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	申請件数	(目標)		(5,000)	(5,000)	(6,300)				令和2・3年度の申請件数をもとに算出							
		実績		4,899	6,801	3,415											
活動指標	事業者への支給額	(目標)		(500,000,000)	(500,000,000)	(495,000,000)				想定件数から算出							
		実績		373,727,954	565,749,462	190,518,999											
[事業の評価]																	
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価									
・令和4年度は申請件数が想定の手数程度に落ち着き、県内事業所の感染対策整備はひととおり行きわたったものとする ・事業所の感染対策整備に寄与し、コロナ対策事業としての役割を終えたため、事業完了				—				<input type="checkbox"/> 拡充		<input type="checkbox"/> 縮減		<input type="checkbox"/> 終期の見直し		見直し額			
								<input type="checkbox"/> 継続		<input type="checkbox"/> 休止		<input checked="" type="checkbox"/> 完了					
								<input type="checkbox"/> 整理統合		<input type="checkbox"/> 廃止		<input type="checkbox"/> その他					

アンテナショップリニューアル事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業政策課	課長名	荒木 一男	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	委託、直営、補助											
補助率	県1/2											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [Ⅲ 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大化]				関連する県の計画等	[ふくい経済ビジョン FIRST291～北陸新幹線開業プラン～]						
[解決すべき問題・課題] 北陸新幹線県内開業を控える中で、多くの人に福井に来てもらうためには、首都圏における県内企業の販路や「ふくいファン」の裾野を拡大するアンテナショップの機能強化とともに県内企業の新たなビジネス展開の拠点の整備が必要である。						[問題・課題を表す客観的データ] 商業動態統計 2021年商業販売額(経済産業省) 商業販売額 551兆9,100億円(前年比 6.0%) 【内訳】卸売業 401兆4,480億円(前年比 7.7%)、小売業 150兆4,620億円(前年比 1.9%)						
[事業目的] 令和4年度中に南青山および銀座の両館のリニューアルオープンに向けた準備事業や県内企業と首都圏企業の交流を促進する事業を行うことにより、首都圏でのビジネス支援拠点としての機能を強化する。												
[事業内容] (1) 建物内装工事 新たな南青山拠点および銀座拠点の開館に向けた内装工事を実施 (2) オープニングイベント 新たな南青山拠点および銀座拠点において、オープニングセレモニーを実施 (3) 南青山コワーキングスペースの利用促進 ①南青山コワーキングスペースin福井(仮称) ・首都圏クリエイターを県内に招き、県内企業との交流会、新商品開発や既存商品デザイン等の改良に関する個別相談会等を開催 ②南青山コワーキングスペースの利用補助 ・県内企業および県内の誘致した企業等が、南青山コワーキングスペースを利用する場合の利用料金の半額を補助 (4) 銀座アンテナショップの利用促進 ①旅費支援 ・県産品製造事業者等が、イベントスペースにおいて、直接消費者に向けて実施する出展販売する場合の旅費を半額補助 ②イベントスペース利用料金支援 ・県産品製造事業者等が、イベントスペースにおいて、直接消費者に向けて実施する出展販売場合の利用料金の半額を補助												
[受益者] 県内事業者						[想定される受益者数] 約300社						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

アンテナショップリニューアル事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業政策課	課長名	荒木 一男						
事業主体		県				事務区分	■ 自治事務		事業区分	■ 実行予算		事業開始年度	R3 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R4 年度		
事業実施方法		委託、直営、補助					□ 法定受託事務			□ 補助金						□ その他	
補助率		県1/2															
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等										
予算額				(財) (諸)	0												
[予算額の推移等]												(単位：千円)					
区分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由										
当初予算額の推移				390,000	415,552												
2月現計予算額の推移			390,000	390,000	510,617												
決算額の推移				156,464													
前年度までの 主な増減理由		令和4年度：リニューアル工事の着工、期間限定アンテナショップの運営															
[成果指標等の推移]																	
区分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠								
成果指標	売上額（千円）	(目標)			(167,684)	(320,000)			新店舗売上目標320,000千円（R4年度～）								
		実績															
活動指標	来館者数（人）	(目標)			(160,000)	(530,000)			新店舗来館者目標53万人（R4年度～）								
		実績															
[事業の評価]																	
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価									
<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年2月に「ふくい食の国291」（銀座）、令和5年3月に「ふくい南青山291」（南青山）をリニューアルオープン ・南青山 coworkingスペースの利用促進等については、年度末のオープンとなったことから、令和5年度より「コネクト291 in福井開催事業」として本格的に実施することとし、事業完了 				—				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額						
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 完了							
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他							